

令和4年度第1回地区推進会議

日時：令和5年3月16日（木）
午後6時～午後7時30分（予定）
場所：市川市勤労福祉センター3階大会議室

会 議 次 第

議題

- 1 次期地域福祉計画策定のためのアンケート調査結果について【資料1-1,1-2,1-3,1-4】
- 2 次期地域福祉計画の「基本理念」及び「行動指針」（案）について【資料2】
- 3 市川市重層的支援体制整備事業（よりそい支援事業）の実施について【資料3】
- 4 その他

《 配布資料 》

- (1)委員名簿
- (2)会議次第
- (3)資料1-1 地域福祉計画策定のためのアンケート結果（市民）について Web 回答版
- (4)資料1-2 地域福祉計画策定のためのアンケート結果（市民）について 紙回答版
- (5)資料1-3 地域福祉計画策定のためのアンケート結果（福祉委員）について
- (6)資料1-4 市川市地域福祉計画策定のためのアンケート調査から見てきたこと
- (7)資料2 第5期市川市地域福祉計画の「基本理念」及び「行動指針」（案）
- (8)資料3 令和5年7月～実施予定 よりそい支援事業全体図（案）

委員名簿

任期：令和4年3月1日 から 令和6年2月29日

令和5年3月16日現在

地区	委員名
市川第一地区	永井 博
	山本 次郎
市川第二地区	滝沢 晶次
国府台地区	林 和茂
	高村 弘晃
真間地区	石崎 多加代
	小林 俊之
八幡地区	佐藤 眞知子
	森 英二郎
菅野・須和田地区	松藤 恒夫
	松本 利美
曾谷地区	日光 三代治
	伊与久 剛史
宮久保・下貝塚地区	有坂 利男
	後藤 久子
市川東部地区	立川 和子
	橋本 弘子
国分地区	本橋 和男
	橋本 清一
大柏地区	淡路 洋
	諸岡 文子
信篤・二俣地区	加藤 英一
	那須 宏行
行徳地区	畑中 博明
	森川 岩雄
南行徳地区	高本 英司
	松倉 勉
市川市ボランティア協会	齊藤 忠一
	山崎 文代

※敬称略

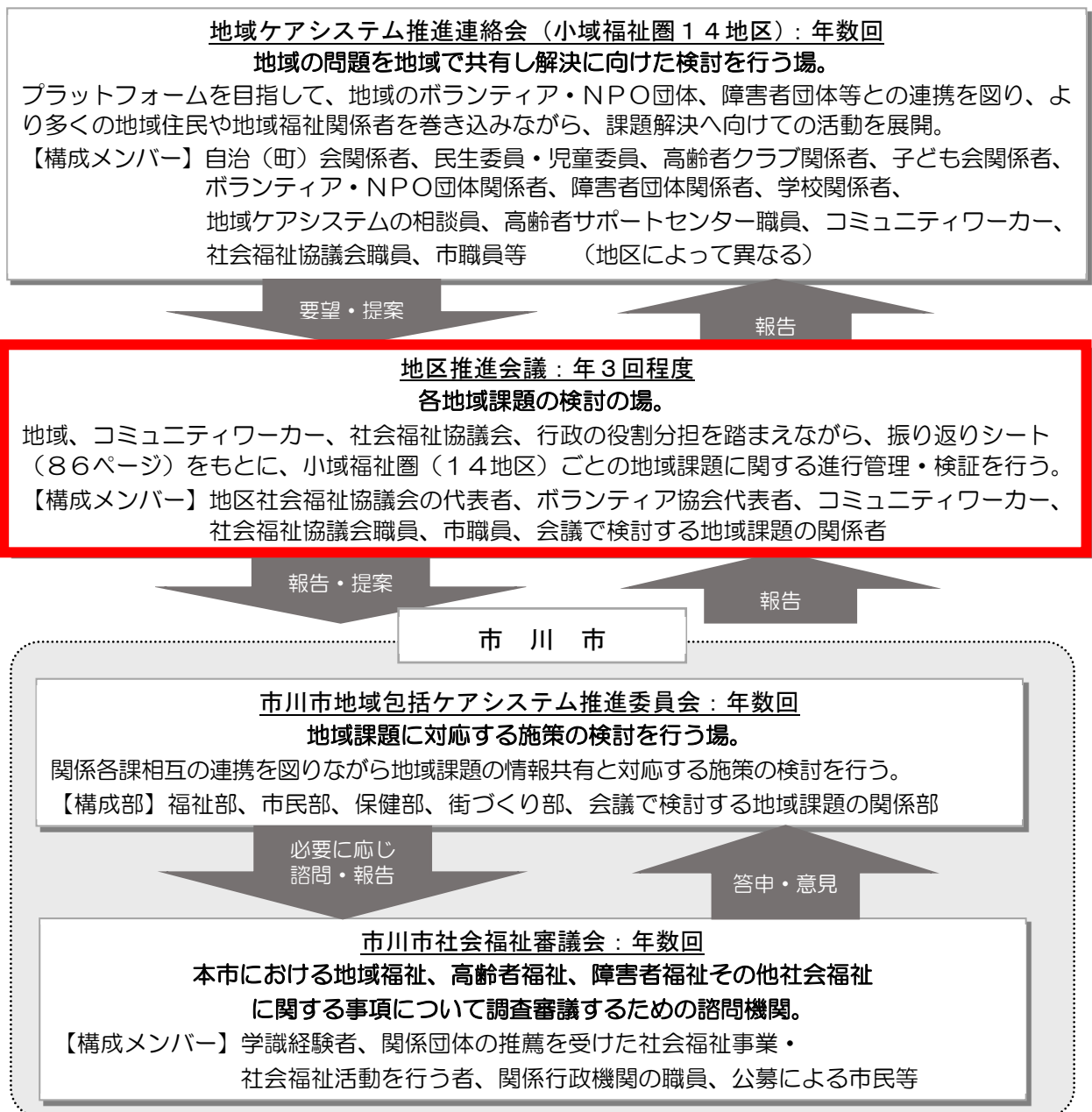
地区推進会議の役割について

【第4期市川市地域福祉計画 84ページ 抜粋】

1 地域福祉推進体制の充実

地域福祉の推進にあたっては、小域福祉圏（14地区）の核となる「地域ケアシステム推進連絡会」で取り上げられた地域課題を「地区推進会議」で共有し、課題解決に向けた検討・提案を地域が中心となって進めていきます。

本市は、地域活動の報告・提案を受けて課題解決への支援及び政策的課題への取組につなげて、その結果を地域住民と共有することで、ともに解決に向けた取組をさらに進めていきます。



地域福祉計画策定のためのアンケート結果(市民)について Web回答版

令和5年3月16日
地区推進会議 資料1-1

1 調査概要(市民アンケート)

- (1) Webによるアンケート回答
令和4年8月から9月にかけて、広報いちかわ、市公式SNSを使用してアンケートフォームでの回答を依頼。(681名回答)
- (2) 紙によるアンケート回答
令和4年9月に、市内在住の65歳以上の方に対しアンケート用紙を郵送(300名に送付、148名から回答)

2 調査結果概要

① 性別

あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

- (1) 男性 32.5%
- (2) 女性 66.2%
- (3) 回答しない 0.7%
- (4) その他 0.6%

② 年齢

あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

- (1) 10歳代 0.3%
- (2) 20歳代 3.5%
- (3) 30歳代 17.3%
- (4) 40歳代 21.6%
- (5) 50歳代 26.9%
- (6) 60歳代 16.0%
- (7) 70歳代 12.5%
- (8) 80歳以上 1.9%

③ 居住地区

あなたは、現在どの地区にお住まいですか。(○は1つだけ)

(%)

北部				西部				
国分	曾谷	大柏	宮久保・下貝塚	国府台	市川第1	市川第2	真間	菅野・須和田
5.9	2.8	6.9	4.7	1.3	6.2	12.5	1.3	8.4

東部			南部		
八幡	市川東部	信篤・二俣	行徳	南行徳第1	南行徳第2
10.1	12.3	6.2	8.7	8.2	4.6

④ 市内在住歴

あなたは市川市に住むようになってから何年になりますか。(○は1つだけ)

- (1) 2年未満 2.6%
- (2) 2年以上5年未満 8.1%
- (3) 5年以上10年未満 11.9%
- (4) 10年以上20年未満 18.4%
- (5) 20年以上30年未満 16.7%
- (6) 30年以上 42.3%

⑤ 家族構成

同居家族の構成をお答えください(自分も含む)。(○は1つだけ)

- (1) ひとり暮らし 10.1%
- (2) 1世代世帯(夫婦のみ) 27.9%
- (3) 2世代世帯(親と同居) 9.1%
- (4) 2世代世帯(子と同居) 45.2%
- (5) 3世代世帯(親と子と孫) 4.0%
- (6) 兄弟姉妹と同居 0.9%
- (7) その他の世帯 2.8%

⑥ 子どもや高齢者の有無

同居されているご家族に、18歳未満の子どもや65歳以上の高齢者がいますか。(あてはまるものすべてに○)

- (1) 65歳以上の高齢者がいる 25.0%
- (2) 就学～18歳未満の子どもがいる 21.3%
- (3) 就学前の子どもがいる 15.6%
- (4) いない 44.6%

⑦ 介護が必要な家族の有無

同居・別居のご家族に、介護が必要な方がいますか。(あてはまるものすべてに○)

- (1) 同居・別居の家族に介護等が必要な人はいない 71.2%
- (2) 別居している家族に介護等が必要な人がある 21.3%
- (3) 同居の家族に介護等が必要な人がある 8.8%
(ご自身の介護が必要な場合も含めて)

⑧ 就労の有無

あなたはお仕事に就いていますか(○は1つだけ)

- (1) フルタイムで働いている 41.6%
- (2) パートタイムで働いている 21.6%
- (3) 自営業をしている 5.7%
- (4) 学生 0.7%
- (5) 特に仕事をしていない 30.4%

⑨ 自身の介護や支援の必要性

あなたは、日常の生活で介護や支援が必要ですか。(○は1つだけ)

- (1) 特に介護や支援は必要ない 93.0%
- (2) 既に介護保険や障害福祉等のサービスを利用している 3.4%
- (3) 介護認定を受けているが、サービスは利用していない 0.4%
- (4) 介護や支援が必要だと思うが、介護認定は受けておらず、サービスは利用していない 3.2%

⑩ 介護や支援サービスを利用していない理由

問9で「3. 介護認定を受けているが、サービスは利用していない」、「4. 介護や支援が必要だと思うが、介護認定は受けておらず、サービスは利用していない」を選択した方にお尋ねします。
サービスを利用していない理由は何ですか。(自由記載)

⑪ 近所づきあいの程度

近所(歩いて行ける程度の範囲)にどの程度のおつきあいの方がいますか。(○は1つだけ)

- (1) 何かで困ったときにはなんでも相談し助け合える人がいる 13.7%
- (2) 内容によっては困ったときに相談し助け合える人がいる 21.9%
- (3) 立ち合った相談事はしないが世間話をする程度の人はいる 25.0%
- (4) 世間話などはしないが挨拶をする程度の人はいる 21.1%
- (5) ほとんど近所づきあいはない 18.4%

⑫ 日常生活での困り事・不安事

あなたは日常生活に関する以下のことで、困ったり不安に感じたりしていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 地震や台風等の自然災害 40.5%
- (2) 自分の健康状態 23.2%
- (3) 地域の治安 18.8%
- (3) 経済的な状況 18.8%

⑬ 日常生活での困り事・不安事の解決方法

日常生活の困りごとや不安を解決していくため、あなたがしていること(したこと)がありますか。(あてはまるものすべてに○)

※ 一部の困りごとや不安に対してしている(したこと)もあげてください。

(上位3位)

- (1) 家族や友人知人等に相談した 33.9%
- (2) 今後、困りごとや不安を感じた場合、相談や行動をしたいと思っている 23.5%
- (3) 市や専門機関、専門家等に相談した 18.6%

⑭ 地域ケアシステムの認知度

市川市では、安心して暮らし続けられる地域社会をつくるために、支え合いの地域づくり(地域ケアシステム)の取り組みを進めています。あなたは、そのことをご存知ですか。(○は1つだけ)

- (1) 知っている 10.1%
- (2) 聞いたことがある 17.5%
- (3) 知らない 72.4%

⑮ 生活上の問題で相談したいときの相談相手

あなたが生活上の問題で相談したいときに、どなたに相談したいですか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 家族や友人等身近な人 78.9%
- (2) インターネット(市のホームページ以外)で情報を入手 37.2%
- (3) 市役所 33.8%

⑯ 地域の生活課題についての住民同士の支え合いや助け合い

日常生活の困りごとや不安を解決するひとつの方法として、地域の人に相談する、身の周りのことを手伝ってもらうなど地域の人に支えてもらうことについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つだけ)

- (1) 現在支えてもらっていることがある 5.3%
- (2) 今後は支えてほしいと思う 18.2%
- (3) 災害時等には支えてほしいと思う 49.5%
- (4) 支えてほしいが難しいと思う 21.0%
- (5) 地域の人に支えてほしいと思わない 6.0%

⑰ 地域で気がかりな人の有無

あなたの家族や親族以外で、地域で気がかりな人がいますか。(○は1つだけ)

- (1) いる 13.7%
- (2) いない 51.4%
- (3) わからない 34.9%

アンケート結果の詳細は以下のアドレスまたはQRコードから結果報告書をご参照ください。

<https://www.city.ichikawa.lg.jp/wel01/1111000243.htm>



2 調査結果概要(つづき)

⑮ 地域で気がかりな人

問17で「1. いる」を選んだ方にお尋ねします。気がかりなのは、どのような方ですか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 本人や家族の介護で困っている 46.2%
- (2) その他 32.3%
- (3) 地域から孤立している 19.4%

⑯ 気がかりな人へ行っている支援

問17で「1. いる」を選んだ方にお尋ねします。その人に対して、あなたはなにかをしていますか(しましたか)。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 気にかけて見守っている 63.4%
- (2) 相談にのったり助けたりしている(した) 32.3%
- (3) 特になにもしていない 14.0%

⑳ 自治会の加入状況

あなたの家は自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

- (1) 加入している 67.1%
- (2) 加入していない 23.5%
- (3) 以前は加入していたが今は加入していない 3.2%
- (4) わからない 6.2%

㉑ 自治会の加入方法

問20で「1. 加入している」を選んだ人にお尋ねします。

あなたは、どのような方法で自治会に加入しましたか。(○は1つだけ)

(上位3位)

- (1) 自治(町)会長・役員からの勧誘 25.2%
- (2) 集合住宅(アパート、マンション等)で一括して加入 22.5%
- (3) 近隣の方の仲介 20.6%

㉒ 自治会に加入していない理由

問20で「2. 加入していない」、「3. 以前は加入していたが今は加入していない」を選んだ人にお尋ねします。あなたの家が自治会に加入していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 加入するきっかけ(勧誘等)がないため 25.8%
- (2) 何の活動をしているのかわからないため 15.9%
- (3) その他 13.7%

㉓ 地域活動への参加状況

あなたは、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について、参加したことがありますか。(○は1つだけ)

- (1) 参加したことはない 53.0%
- (2) 参加しことはあるが現在はほとんどしていない 23.1%
- (3) 参加することができない 4.3%
- (4) たまに参加することがある 9.1%
- (5) 継続的に参加している 10.6%

㉔ 参加したことの地域活動

あなたは、お住まいの地域の次のどのような活動に参加したことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 地域のおまつりやイベント 47.0%
- (2) 特になし 36.1%
- (3) 自治(町)会、女性会、老人会、子ども会等の運営 18.6%

㉕ 地域活動への参加にあたり気になること

あなたは、地域の活動への参加について、気になることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 活動の情報が得にくい 34.8%
- (2) 参加する時間がない 29.7%
- (3) 参加するきっかけがない 29.4%

㉖ 地域福祉活動への参加

あなたは、広域での活動も含め、地域福祉活動に参加していますか。また、現在は参加してなくて、今後参加したいと思うものがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 特になし 40.5%
- (2) わからない 40.0%
- (3) 高齢者や子ども等の見守りや声かけの活動 24.1%

㉗ 地域福祉活動の課題

市民による地域福祉の活動について、課題だと思うものがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 活動に参加する人が少ないまたは、固定化している 46.5%
- (2) 活動する人の負担が大きい 37.0%
- (3) わからない 28.6%

㉘ 地域活動により多くの人が参加できるようにするために必要なこと

あなたは、お住まいの地域の活動に、より多くの人が参加できるようにするために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 市が、参加する方法についての具体的な情報を広く紹介する 44.3%
- (2) 地域の活動団体が、活動や団体についての具体的な情報を広く紹介する 39.9%
- (3) 各自が、活動に参加できる“ゆとり”や“時間”のある社会を目指す 35.4%

㉙ 地域福祉の充実のため市が優先的に取り組むべきこと

地域福祉を充実させるために、市川市はどのようなことを特に優先的に取り組むべきだと思いますか。(○は3つまで)

(上位3位)

- (1) 子育て支援 30.2%
- (2) 身近な相談窓口の整備 29.4%
- (3) 福祉に関する情報の提供 27.6%

㉚ 地域や民間の団体・事業者等が積極的に取り組むべきこと

地域や民間の団体・事業者等が積極的に取り組むべきだと思うことはありますか。(○は3つまで)

(上位3位)

- (1) 子育て支援 25.1%
- (2) 身近な相談窓口の整備 23.1%
- (3) 福祉に関する情報の提供 21.7%

㉛ 地震や台風等の災害時の避難で不安に感じること

あなたは、地震や台風等の災害時の避難に関して、不安を感じることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 避難等の判断が的確にできるか不安である 47.6%
- (2) 災害時に情報を得られるか不安である 43.0%
- (3) プライバシーが確保されるのか不安 35.2%

㉜ 地震や災害に備えた日頃の対策

あなたは、地震や災害時の避難に備えて、日頃からどのような対策を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 懐中電灯などの非常用持ち出し品を準備している 70.0%
- (2) 3日以上以上の食料品・飲料水を備蓄している 51.7%
- (3) 簡易トイレの備蓄をしている 41.9%

㉝ 災害対策としての地域での備え

あなたは、災害時の対策として、地域でどのような備えをしておくことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 災害時に支援を必要とする人の把握 55.7%
- (2) 高齢者や乳幼児等の要支援者対象の物資の確保 41.9%
- (3) 支援する人(支援者)の確保 40.5%

㉞ 災害時避難・救助のための名簿作成への参加意向

あなたは、災害時の避難や救助のために、市役所、消防署、警察署や自治(町)会へ、住所・氏名・連絡先などを事前に知らせておくことについて、どう思いますか。(○は1つだけ)

- (1) 最低限の情報ならば知らせておいてもよい 91.2%
- (2) 知らせたくない 2.9%
- (3) わからない 5.9%

㉟ 災害時や日常生活に支障がある際の声かけや簡単な援助の依頼意向

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、災害時だけでなく、日頃からの身近な地域での助け合いが大切だと言われています。災害のときや日常生活に支障があるときに、自治(町)会などによる声かけや簡単な援助をしてもらうことについてどう思いますか。

(○は1つだけ)

- (1) ぜひ頼みたい 15.3%
- (2) 状況によっては頼みたい 64.9%
- (3) できるだけ遠慮したい 8.4%
- (4) 関わりたくない 2.1%
- (5) わからない 9.4%

㊱ 避難行動要支援者名簿作成に関する意識

問35で「1. ぜひ頼みたい」、「2. 状況によっては頼みたい」と回答した方にお聞きします。あなたの名前や年齢、お体の状況、ご家族の有無など個人の情報が自治(町)会などに知られることに知られることについてどのように思いますか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 最小限の情報(名前、年齢程度)ならかまわない 65.6%
- (2) 必要な情報(体の状況のほか、生活・家族の状況など)は積極的に提供したい 28.2%
- (3) 個人の情報なので知られたくない 6.4%

㊲ 地域共生社会に向け市が力を入れて取り組むべきこと

「地域共生社会」では、多様な生活課題に法制度の枠組みを超えて、横断的に対応する相談支援体制が求められますが、市川市ではこうした包括的な相談支援の仕組みを充実していくうえで、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(○は1つだけ)

(上位3位)

- (1) 相談しやすいように窓口などの開設時間や相談受付の方法(SNSなどの利用等)を改善させる 33.2%
- (2) 身近な地域において相談を受け付けられる機能を充実させる 15.6%
- (3) 市役所に総合的な相談を受け付けられる窓口を設置する 15.4%

地域福祉計画策定のためのアンケート結果(市民)について 紙回答版

令和5年3月16日
地区推進会議 資料1-2

1 調査概要(市民アンケート)

- (1) Webによるアンケート回答
令和4年8月から9月にかけて、広報いちかわ、市公式SNSを使用してアンケートフォームでの回答を依頼。(681名回答)
- (2) 紙によるアンケート回答
令和4年9月に、市内在住の65歳以上の方に対しアンケート用紙を郵送(300名に送付、148名から回答)

2 調査結果概要

① 性別

- (1) あなたの性別をお答えください。(〇は1つだけ)
- (2) 男性 39.2%
- (3) 女性 60.1%
- (4) 回答しない 0.7%

② 年齢

- あなたの年齢をお答えください。(〇は1つだけ)
- (1) 60歳代 25.7%
 - (2) 70歳代 42.6%
 - (3) 80歳以上 31.8%

③ 居住地区

あなたは、現在どの地区にお住まいですか。(〇は1つだけ)

(%)

北部				西部				
国分	曾谷	大柏	宮久保・下貝塚	国府台	市川第1	市川第2	真間	菅野・須和田
1.4	7.4	7.4	2.0	3.4	6.8	14.2	2.7	6.1

東部			南部		
八幡	市川東部	信篤・二俣	行徳	南行徳第1	南行徳第2
6.8	19.6	4.7	6.1	5.4	6.1

④ 市内在住歴

あなたは市川市に住むようになってから何年になりますか。(〇は1つだけ)

- (1) 2年未満 2.7%
- (2) 2年以上5年未満 —
- (3) 5年以上10年未満 4.7%
- (4) 10年以上20年未満 6.8%
- (5) 20年以上30年未満 15.5%
- (6) 30年以上 70.3%

⑤ 家族構成

同居家族の構成をお答えください(自分も含む)。(〇は1つだけ)

- (1) ひとり暮らし 31.1%
- (2) 1世代世帯(夫婦のみ) 30.4%
- (3) 2世代世帯(親と同居) 2.7%
- (4) 2世代世帯(子と同居) 28.4%
- (5) 3世代世帯(親と子と孫) 2.7%
- (6) 兄弟姉妹と同居 1.4%
- (7) その他の世帯 3.4%

⑥ 子どもや高齢者の有無

同居されているご家族に、18歳未満の子どもや65歳以上の高齢者がいますか。(あてはまるものすべてに〇)

- (1) 65歳以上の高齢者がいる 48.0%
- (2) 就学～18歳未満の子どもがいる 2.0%
- (3) 就学前の子どもがいる 0.7%
- (4) いない 35.1%

⑦ 介護が必要な家族の有無

同居・別居のご家族に、介護が必要な方がいますか。(あてはまるものすべてに〇)

- (1) 同居・別居の家族に介護等が必要な人はいない 62.2%
- (2) 別居している家族に介護等が必要な人がある 6.1%
- (3) 同居の家族に介護等が必要な人がある 22.3%
(ご自身の介護が必要な場合も含めて)

⑧ 就労の有無

あなたはお仕事に就いていますか(〇は1つだけ)

- (1) フルタイムで働いている 8.1%
- (2) パートタイムで働いている 11.5%
- (3) 自営業をしている 6.8%
- (4) 特に仕事をしていない 73.6%

⑨ 自身の介護や支援の必要性

あなたは、日常の生活で介護や支援が必要ですか。(〇は1つだけ)

- (1) 特に介護や支援は必要ない 82.4%
- (2) 既に介護保険や障害福祉等のサービスを利用している 10.1%
- (3) 介護認定を受けているが、サービスは利用していない 2.0%
- (4) 介護や支援が必要だと思うが、介護認定は受けておらず、サービスは利用していない 4.7%

⑩ 介護や支援サービスを利用していない理由

問9で「3. 介護認定を受けているが、サービスは利用していない」、
「4. 介護や支援が必要だと思うが、介護認定は受けておらず、サービスは利用していない」を選択した方にお尋ねします。
サービスを利用していない理由は何ですか。(自由記載)

⑪ 近所づきあいの程度

近所(歩いて行ける程度の範囲)にどの程度のおつきあいの方がいますか。(〇は1つだけ)

- (1) 何かで困ったときにはなんでも相談し助け合える人がある 14.9%
- (2) 内容によっては困ったときに相談し助け合える人がある 17.6%
- (3) 立ち入った相談事はしないが世間話をする程度の人はいる 35.1%
- (4) 世間話などはしないが挨拶をする程度の人はいる 23.0%
- (5) ほとんど近所づきあいはない 9.5%

⑫ 日常生活での困り事・不安事

あなたは日常生活に関する以下のことで、困ったり不安に感じたりしていることがありますか。(あてはまるものすべてに〇)

- (上位3位)
- (1) 地震や台風等の自然災害 35.8%
 - (2) 特にない 29.7%
 - (3) 自分の健康状態 27.7%

⑬ 日常生活での困り事・不安事の解決方法

日常生活の困りごとや不安を解決していくため、あなたがしていること(したこと)がありますか。(あてはまるものすべてに〇)

※ 一部の困りごとや不安に対してしている(したこと)もあげてください。
(上位3位)

- (1) 家族や友人知人等に相談した 31.8%
- (2) 今後、困りごとや不安を感じた場合、相談や行動をしたいと思っている 30.4%
- (3) それほどのことでないのにしてない 20.3%

⑭ 地域ケアシステムの認知度

市川市では、安心して暮らし続けられる地域社会をつくるために、支え合いの地域づくり(地域ケアシステム)の取り組みを進めています。あなたは、そのことをご存知ですか。(〇は1つだけ)

- (1) 知っている 13.5%
- (2) 聞いたことがある 23.0%
- (3) 知らない 62.8%

⑮ 生活上の問題で相談したいときの相談相手

あなたが生活上の問題で相談したいときに、どなたに相談したいですか。(あてはまるものすべてに〇)

- (上位3位)
- (1) 家族や友人等身近な人 77.7%
 - (2) 市役所 29.7%
 - (3) 高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)19.6%
 - (4) 市のホームページや広報で情報を入手 19.6%

⑯ 地域の生活課題についての住民同士の支え合いや助け合い

日常生活の困りごとや不安を解決するひとつの方法として、地域の人に相談する、身の周りのことを手伝ってもらうなど地域の人に支えてもらうことについて、あなたはどう思いますか。(〇は1つだけ)

- (1) 現在支えてもらっていることがある 4.7%
- (2) 今後は支えてほしいと思う 23.0%
- (3) 災害時等には支えてほしいと思う 54.1%
- (4) 支えてほしいが難しいと思う 11.5%
- (5) 地域の人に支えてほしいと思わない 4.1%

⑰ 地域で気がかりな人の有無

あなたの家族や親族以外で、地域で気がかりな人がいますか。(〇は1つだけ)

- (1) いる 13.5%
- (2) いない 52.7%
- (3) わからない 33.1%

⑱ 地域で気がかりな人

問17で「1. いる」を選んだ方にお尋ねします。気がかりなのは、どのような方ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- (1) その他 50.0%
- (2) 本人や家族の介護で困っている 25.0%
- (3) 経済的に困っている 20.0%
- (4) 地域から孤立している 15.0%
- (5) ひきこもって学校や仕事に行っていない 5.0%

アンケート結果の詳細は以下のアドレスまたはQRコードから結果報告書をご参照ください。

<https://www.city.ichikawa.lg.jp/wel01/1111000243.html>



2 調査結果概要(つづき)

⑲ 気がかりな人へ行っている支援

問17で「1. いる」を選んだ方にお尋ねします。その人に対して、あなたはなにかをしていますか(しましたか)。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 気にかけて見守っている 70.0%
- (2) 相談にのったり助けたりしている(した) 25.0%
- (3) 市や専門機関、地域の人等に相談している(した) 10.0%
- (3) 関わりたくない 10.0%
- (3) 特になにもしていない 10.0%

⑳ 自治会の加入状況

あなたの家は自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

- (1) 加入している 81.1%
- (2) 加入していない 10.1%
- (3) 以前は加入していたが今は加入していない 3.4%
- (4) わからない 4.7%

㉑ 自治会の加入方法

問20で「1. 加入している」を選んだ人にお尋ねします。

あなたは、どのような方法で自治会に加入しましたか。(○は1つだけ)

(上位3位)

- (1) 自治(町)会長・役員からの勧誘 22.5%
- (2) 集合住宅(アパート、マンション等)で一括して加入 20.8%
- (3) 家を購入したときに不動産業者からの紹介 15.8%

㉒ 自治会に加入していない理由

問20で「2. 加入していない」、「3. 以前は加入していたが今は加入していない」を選んだ人にお尋ねします。あなたの家が自治会に加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 何の活動をしているのかわからないため 30.0%
- (1) 役員をやりたくないため 30.0%
- (3) 活動に魅力がないため 25.0%

㉓ 地域活動への参加状況

あなたは、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について、参加したことがありますか。(○は1つだけ)

- (1) 参加したことはない 56.1%
- (2) 参加しことはあるが現在はほとんどしていない 19.6%
- (3) 参加することができない 4.1%
- (4) たまに参加することがある 8.8%
- (5) 継続的に参加している 8.8%

㉔ 参加したことのあつ地域活動

あなたは、お住まいの地域の次のどのような活動に参加したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 地域のおまつりやイベント 41.2%
- (2) 特にない 40.5%
- (3) 道路や公園等の清掃活動 23.0%

㉕ 地域活動への参加にあたり気になること

あなたは、地域の活動への参加について、気になることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 特に感じない 39.2%
- (2) 活動の情報が得にくい 19.6%
- (3) 参加するきっかけがない 15.5%

㉖ 地域福祉活動への参加

あなたは、広域での活動も含め、地域福祉活動に参加していますか。また、現在は参加してなくて、今後参加したいと思うものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 特にない 43.9%
- (2) わからない 24.3%
- (3) ちょっとした困りごとを支えあう活動 12.8%

㉗ 地域福祉活動の課題

市民による地域福祉の活動について、課題だと思うものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) わからない 38.5%
- (2) 活動に参加する人が少ないまたは、固定化している 27.0%
- (3) 活動する人の負担が大きい 17.6%

㉘ 地域活動により多くの人が参加できるようにするために必要なこと

あなたは、お住まいの地域の活動に、より多くの人が参加できるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 市が、参加する方法についての具体的な情報を広く紹介する 36.5%
- (2) 地域の活動団体が、活動や団体についての具体的な情報を広く紹介する 32.4%
- (3) 各自が、日頃から地域の人々とのつきあいを深める 30.4%

㉙ 地域福祉の充実のため市が優先的に取り組むべきこと

地域福祉を充実させるために、市川市はどのようなことを特に優先的に取り組むべきだと思いますか。(○は3つまで)

(上位3位)

- (1) 身近な相談窓口の整備 30.4%
- (2) 福祉に関する情報の提供 29.7%
- (3) 高齢者・障がい者等の介護や生活支援 25.7%

㉚ 地域や民間の団体・事業者等が積極的に取り組むべきこと

地域や民間の団体・事業者等が積極的に取り組むべきだと思うことはありますか。(○は3つまで)

(上位3位)

- (1) 身近な相談窓口の整備 26.4%
- (2) 福祉に関する情報の提供 22.3%
- (3) 高齢者・障がい者等の介護や生活支援 18.9%

㉛ 地震や台風等の災害時の避難で不安に感じること

あなたは、地震や台風等の災害時の避難に関して、不安を感じることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 災害時に情報を得られるか不安である 50.0%
- (2) 避難等の判断が的確にできるか不安である 43.2%
- (3) どんな災害が起きるかわからない 42.6%

㉜ 地震や災害に備えた日頃の対策

あなたは、地震や災害時の避難に備えて、日頃からどのような対策を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 懐中電灯などの非常用持ち出し品を準備している 71.6%
- (2) 3日分以上の食料品・飲料水を備蓄している 46.6%
- (3) 家具類を固定し転倒防止を実施している 32.4%

㉝ 災害対策としての地域での備え

あなたは、災害時の対策として、地域でどのような備えをしておくことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 災害時に支援を必要とする人の把握 62.8%
- (2) 支援する人(支援者)の確保 46.6%
- (3) 高齢者や乳幼児等の要支援者対象の物資の確保 41.2%

㉞ 災害時避難・救助のための名簿作成への参加意向

あなたは、災害時の避難や救助のために、市役所、消防署、警察署や自治(町)会へ、住所・氏名・連絡先などを事前に知らせておくことについて、どう思いますか。(○は1つだけ)

(上位3位)

- (1) 最低限の情報ならば知らせておいてもよい 79.7%
- (2) 知らせたくない 4.1%
- (3) わからない 11.5%

㉟ 災害時や日常生活に支障がある際の声かけや簡単な援助の依頼意向

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、災害時だけでなく、日頃からの身近な地域での助け合いが大切だと言われています。

災害のときや日常生活に支障があるときに、自治(町)会などによる声かけや簡単な援助をしてもらうことについてどう思いますか。

(○は1つだけ)

- (1) ぜひ頼みたい 19.6%
- (2) 状況によっては頼みたい 62.2%
- (3) できるだけ遠慮したい 3.4%
- (4) 関わりたくない 1.4%
- (5) わからない 9.5%

㊱ 避難行動要支援者名簿作成に関する意識

問35で「1. ぜひ頼みたい」、「2. 状況によっては頼みたい」と回答した方にお聞きします。あなたの名前や年齢、お体の状況、ご家族の有無など

個人の情報が自治(町)会などに知られることに知られることについてはどう思いますか。(あてはまるものすべてに○)

(上位3位)

- (1) 最小限の情報(名前、年齢程度)ならかまわない 68.6%
- (2) 必要な情報(体の状況のほか、生活・家族の状況など)は積極的に提供したい 29.8%
- (3) 個人の情報なので知られたくない 5.8%

㊲ 地域共生社会に向け市が力を入れて取り組むべきこと

「地域共生社会」では、多様な生活課題に法制度の枠組みを超えて、横断的に対応する相談支援体制が求められますが、市川市ではこうした

包括的な相談支援の仕組みを充実していくうえで、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(○は1つだけ)

(上位3位)

- (1) 身近な地域において相談を受け付けられる機能を充実させる 27.0%
- (2) 市役所に総合的な相談を受け付けられる窓口を設置する 25.7%
- (3) 相談しやすいように窓口等の開設時間や相談受付の方法(SNS などの利用等)を改善させる 14.2%

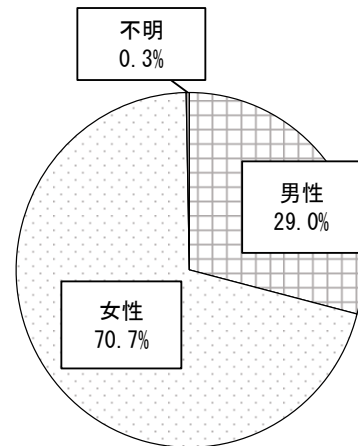
地域福祉計画策定のためのアンケート結果(福祉委員)について

1 調査概要(福祉委員アンケート)

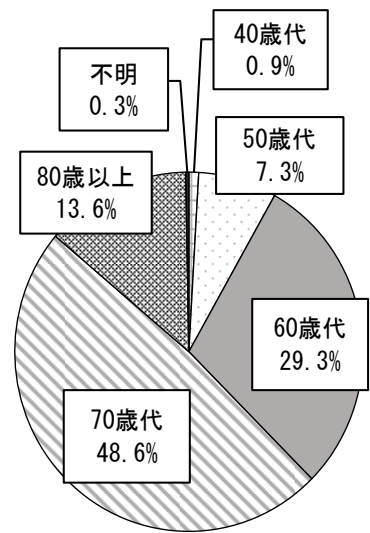
福祉委員を務めている方に対し、相談員会議等の地区における会議の際に配布するなど、地区において個別に配布・回収方法を工夫して実施(令和4年9月～10月、690人対象、331人が回答)

2 調査結果概要

① 性別 あなたの性別をお答えください。(〇は1つだけ)



② 年齢 あなたの年齢をお答えください。(〇は1つだけ)

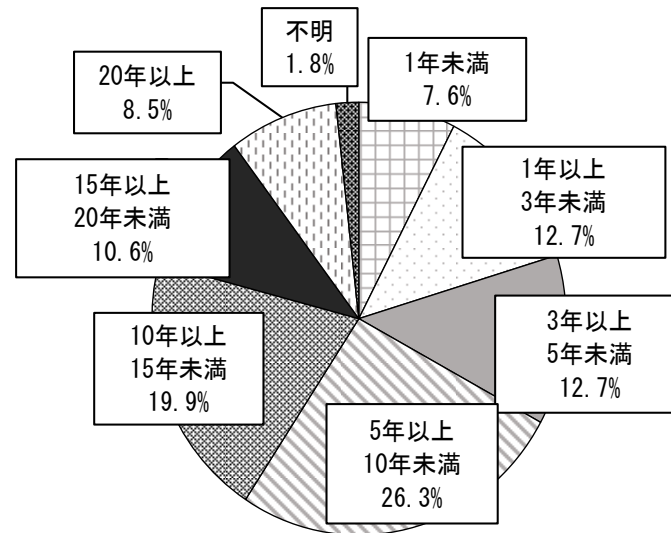


③ 活動・所属地区 あなたの活動する地区、もしくは、あなたの所属する地区は次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

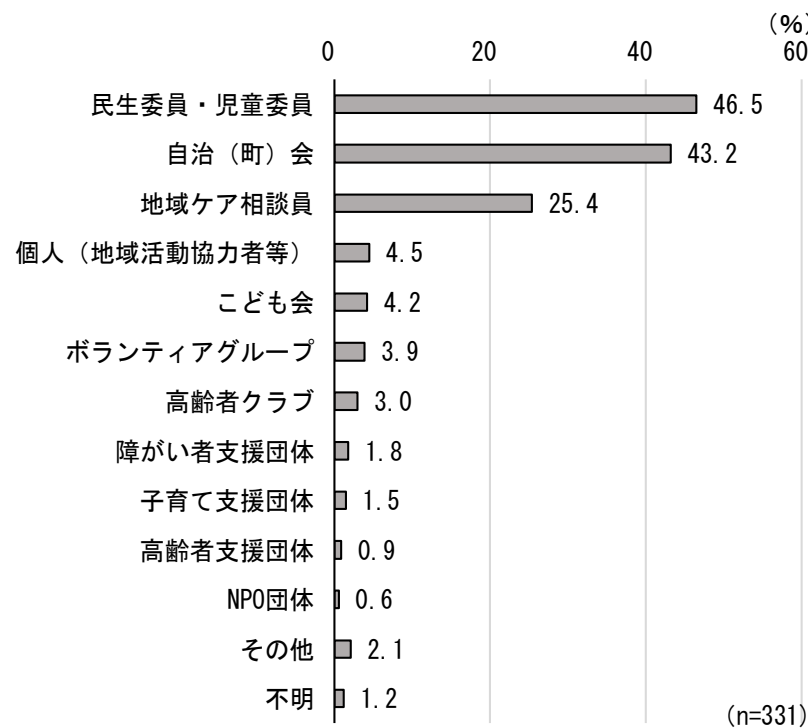
北部				西部				
国分	曾谷	大柏	宮久保・下貝塚	国府台	市川第1	市川第2	真間	菅野・須和田
8.8	4.8	12.4	10.0	1.5	10.0	4.2	8.5	6.9

東部			南部		
八幡	市川東部	信篤・二俣	行徳	南行徳第1	南行徳第2
3.0	9.7	5.4	2.4	2.7	9.1

④ 活動年数 あなたは、福祉委員の活動をされてどのくらいになりますか。通算の年数でお答えください。(〇は1つだけ)



⑤ 出身母体 あなたの福祉委員としての出身母体は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)



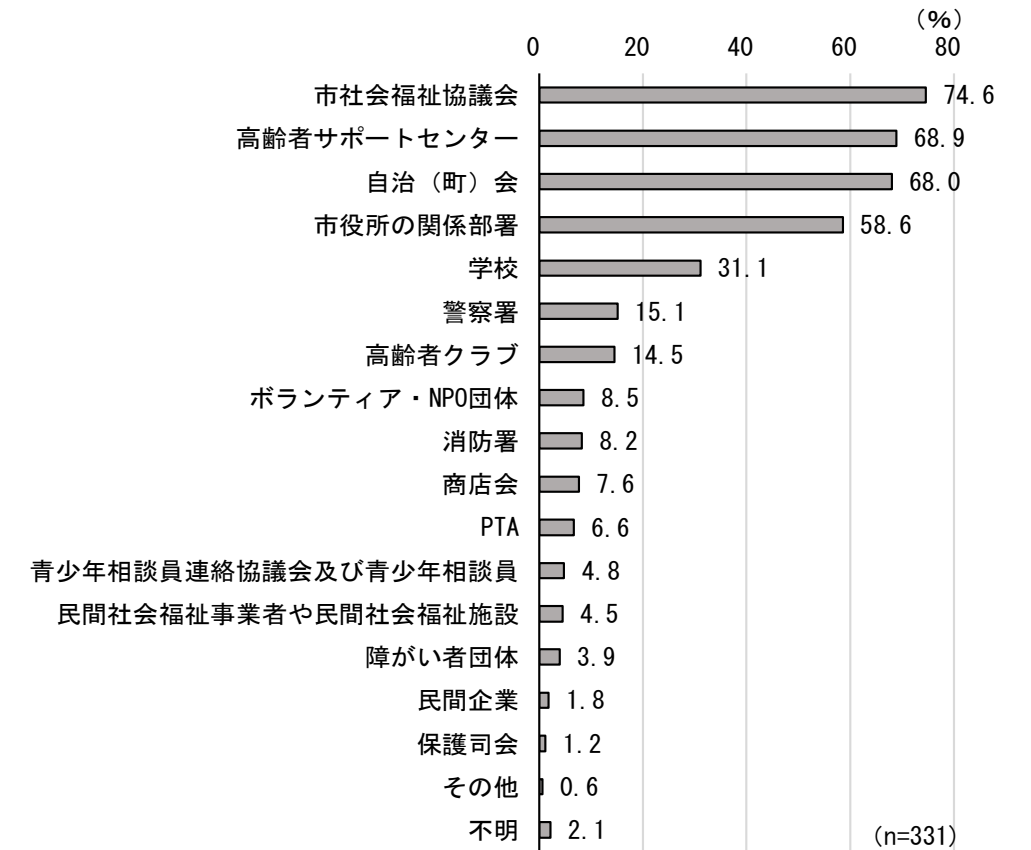
⑥ 福祉委員の活動として意識しているもの 福祉委員の活動として意識しているものは次のどれですか。(あてはまるものすべてに〇)

- 地区社協活動やふれあいサロンなど、福祉活動への参画・協力 65.6%
- 発見(見守り・声かけ) 52.6%
- 地域の民生委員・児童委員・主任児童委員や地区社協、専門機関等への連絡 46.5%
- 福祉課題や困りごとの相談対応 45.6%
- 住民の生活 31.7%
- 福祉意識に関する啓発活動(生活・福祉に関する情報等の周知) 24.2%
- その他・不明 2.4%

⑦ 行政への相談や手助けの有無 あなたは、地域の課題を解決するために、行政(市役所等)に相談したり、手助けを求めたことがありますか。

- ある 59.8%
- ない 38.1%
- 不明 2.1%

⑧ 地域での活動等の際の連携団体 地域での活動の際に、どのような団体と連携して活動されていますか。(あてはまるものすべてに〇)



⑨ 担当地区で困っている人の把握 あなたの担当地区で、選択肢に当てはまる人を見たり聞いたりしたことはありますか。(あてはまるものすべてに〇)

- (上位5位)
- 認知症の人がいる 44.1%
 - 自分の健康状態が不安 41.1%
 - 話し相手や相談相手がいない 35.3%
 - ごみ出しや掃除、片付け、草むしりができない 33.2%
 - 地震や台風等の自然災害が心配 30.2%

⑩ 担当地域での課題 現在担当している地域の中で課題に感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- (上位5位)
- 隣近所との交流がない 42.0%
 - 世代間の交流がない 42.0%
 - 地域の中で気軽に集まれる場が少ない 38.7%
 - 地域の活動が活発でない 28.7%
 - あいさつをしない人が多い 16.3%

アンケート結果の詳細は以下のアドレスまたはQRコードから結果報告書をご参照ください。

<https://www.city.ichikawa.lg.jp/wel01/1111000243.html>



2 調査結果概要(つづき)

⑪ 活動をする中で抱えている課題

福祉委員として活動する中で抱えている課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- (上位3位) (1) 相談に訪れた方・相談を希望されている方との関わり方(プライバシー問題への介入等) 37.2%
 (2) 個人情報保護の観点で優先され必要な情報が手に入らない 34.7%
 (3) 特になし 27.5%

⑫ 今後、活動を活性化していくために、特に必要なこと

今後、福祉委員としての活動を活性化していくために必要なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- (上位3位) (1) 自治(町)会との協力関係を深めていく 60.7%
 (2) 新たに福祉委員となる担い手を養成していく 48.0%
 (3) 地域の住民に活動内容を積極的にアピールしていく 43.8%

⑬ 地域で支えあう仕組みづくりのため必要なもの

地域で支えあう仕組みづくりをするために、市川市にとって特に必要と思うものは何ですか。(○は3つまで)

- (上位3位) (1) 支えあう活動への参加方法をPR・確立する 47.7%
 (2) 組織、団体、市民が知り合う機会や活動する場所を確保する 46.5%
 (3) 支えあいの仕組みに関する勉強会・研修会等を開催する 34.7%

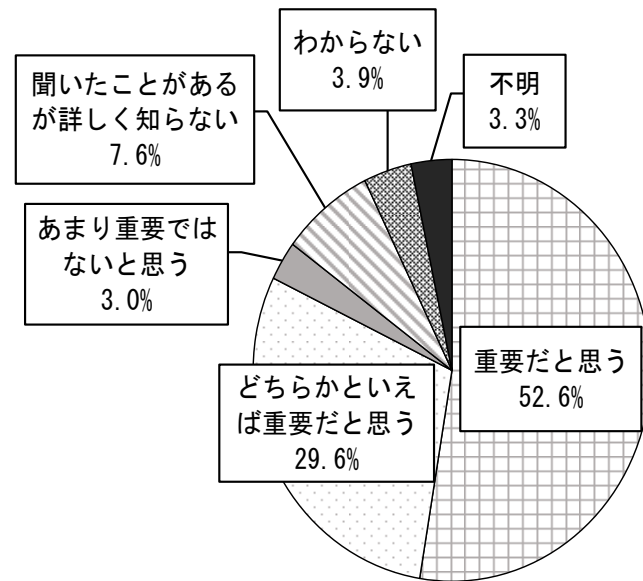
⑭ 地域福祉を推進する地域の人材(担い手)を増やすために必要なこと

地域福祉を推進する地域の人材(担い手)を増やすには、どのようにしたらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- (上位3位) (1) 気軽に集まれる場の設定や催し物、行事を通じて、地域の福祉活動への協力を呼び掛ける 73.7%
 (2) 地域で福祉に関する勉強会を実施するなど、地域福祉活動の重要性をPRする 40.2%
 (3) 学校で福祉に関する教育を一層充実させる 33.5%

⑮ 地域ケアシステムの重要性

市川市では、安心して暮らし続けられる地域社会をつくるために、支え合いの地域づくり(地域ケアシステム)の取り組みがありますが、この仕組みについてどう思いますか。(○は1つだけ)



⑯ 地域ケアシステムとはどのようなものか

地域ケアシステムは、地域の支え合い・助け合いの仕組みのこととされており、活動の柱は、【(1)地域での支え合い(2)身近な場所での相談(3)行政の組織的な受け皿体制】とされていますが、あなたが思う地域ケアシステムとはどのようなものですか。(自由記載)

⑰ コミュニティワーカーに期待する支援内容

地域と地域のネットワーク支援や、地域と行政との連絡・調整等を行うコミュニティワーカー(市が市社会福祉協議会に委託)に今後期待するものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- (上位5位) (1) 地域住民による支え合い・見守りネットワーク作りの支援 49.8%
 (2) 地域活動の担い手の発掘・養成 42.3%
 (3) 地域の課題の発見と共有化の支援 39.3%
 (4) 行政へ地域の声を届ける機能の拡充 31.4%
 (5) 地域ケア推進連絡会の運営支援 29.0%

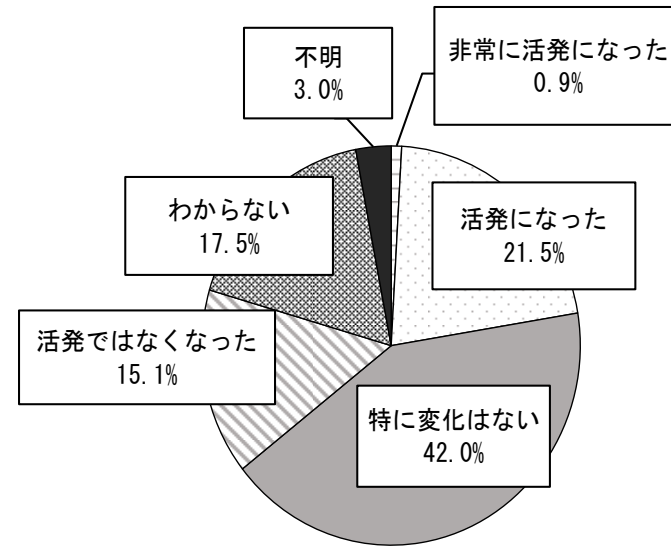
⑱ 地域ケアシステムで今後重視すべきこと

あなたは、地域ケアシステムで今後重視すべきことはどのようなことだと思いますか。(○は1つだけ)

- (上位3位) (1) 支え合いの地域づくり(地域ケアシステム)拠点の機能強化 19.3%
 (2) 相談機能の強化 15.7%
 (3) 相談員の養成 9.1%

⑲ 以前と比べて自身の活動区域における地域福祉の変化

以前(平成28年頃)と比べて、ご自身の活動区域における地域の福祉活動はどのように変化したと感じますか。(○は1つだけ)



⑳ 以前と比べて活動地域において推進された地域福祉

以前(平成28年頃)と比べて、日頃活動されている地域において、主にどのような点で地域福祉が推進されたと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- (上位3位) (1) わからない 27.2%
 (2) 福祉に関する情報提供が進んだ 20.2%
 (3) 進んだと思う点はない 16.6%

㉑ 地域住民による地域福祉活動の課題

地域住民による地域福祉の活動について、課題だと思うことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- (上位3位) (1) 活動に参加する人が少ない、または、固定化している 74.6%
 (2) 活動する人の負担が大きい 26.3%
 (3) 活動に関する情報や助言が得にくい 18.7%

㉒ 地域福祉活動への参加者を増やすのに必要なこと

あなたは、地域福祉の活動に参加する人を増やすには、どのような取組を特に優先的に進めるのがよいと思いますか。(○は1つだけ)

- (上位3位) (1) 地域が日頃から地域の人々とのつきあいを深める 14.8%
 (2) 地域が活動や団体についての情報をさらに発信する 12.1%
 (3) 地域が地域の人へ参加を呼びかける 11.2%

㉓ コロナ禍で、集まって活動するための工夫

コロナ禍において、集まって地域の福祉活動を実施できるように、工夫したことがありましたらご記入ください。(自由記載)

㉔ コロナ禍で、集まらずに活動するための工夫

コロナ禍において、集まらずに地域の福祉活動が実施できるように、工夫したことがありましたらご記入ください。(自由記載)

㉕ 地域福祉の充実のため市が優先的に取り組むべきこと

地域福祉を充実させるために、市川市はどのようなことを特に優先的に取り組むべきだと思いますか。(○は3つまで)

- (上位3位) (1) 身近な相談窓口の整備 37.2%
 (2) 福祉に関する情報の提供 31.4%
 (3) 地域住民のつながりづくり 19.6%

㉖ 地域や民間の団体・事業者等が積極的に取り組むべきこと

地域や民間の団体・事業者等が積極的に取り組むべきだと思いますことはありますか。(○は3つまで)

- (上位3位) (1) 身近な相談窓口の整備 26.3%
 (2) 福祉に関する情報の提供 24.5%
 (3) 地域住民のつながりづくり 21.5%

㉗ 地域共生社会に向け市が力を入れて取り組むべきこと

「地域共生社会」では、多様な生活課題に法制度の枠組みを超えて、横断的に対応する相談支援体制が求められますが、市川市ではこうした包括的な相談支援の仕組みを充実していくうえで、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(○は1つだけ)

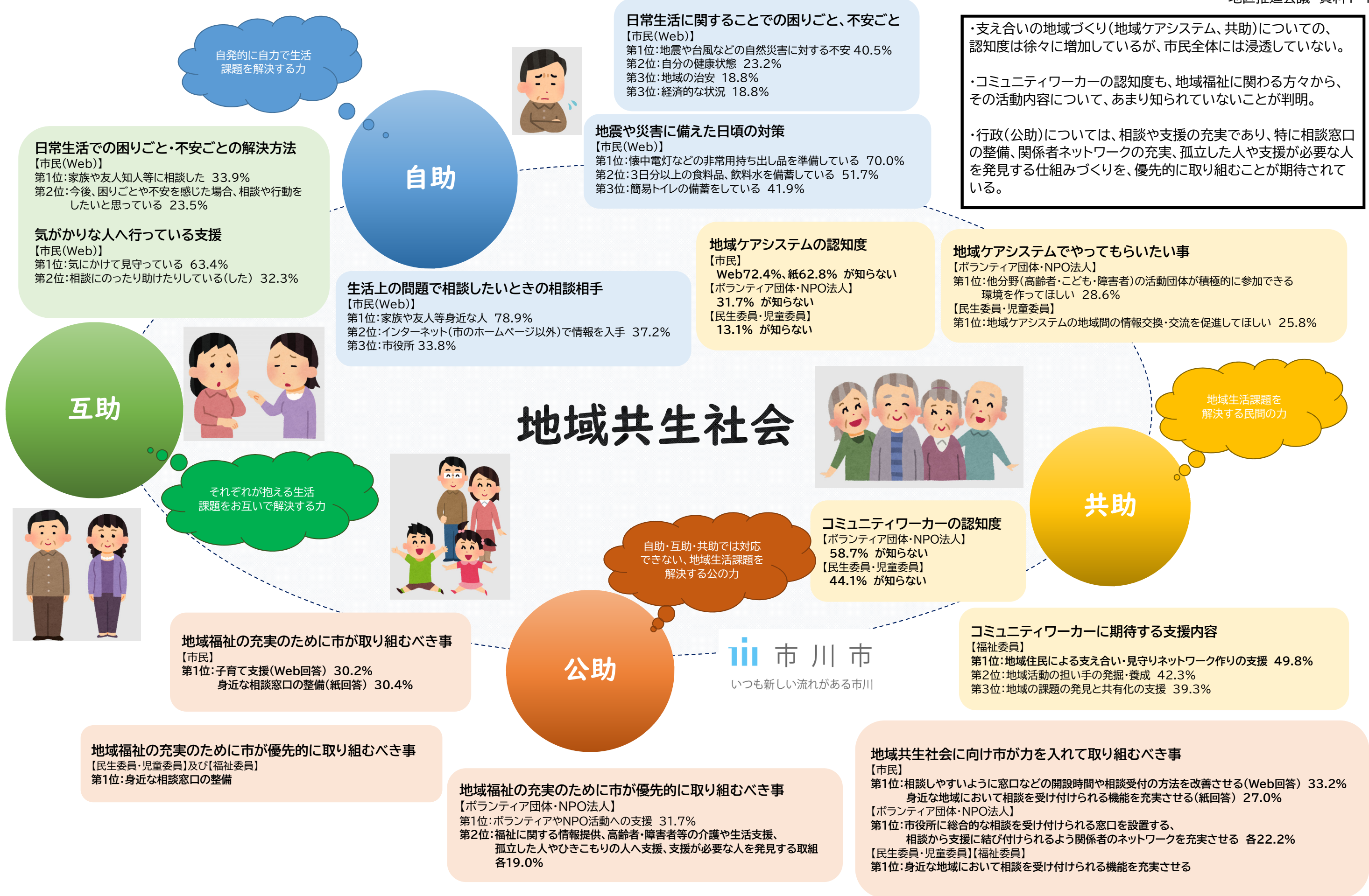
- (上位3位) (1) 身近な地域において相談を受け付けられる機能を充実させる 23.9%
 (2) 相談から支援に結び付けられるよう関係者のネットワークを充実させる 19.3%
 (3) 市役所に総合的な相談を受け付けられる窓口を設置する 17.2%
 (3) 相談に行けない(行かない)市民の発見手法を確立させる 17.2%

㉘ 課題・問題を抱えた市民発見への協力

相談支援体制を整備する中においては、課題・問題を抱えた市民を発見することも重要となります。福祉委員として協力できると考えられるものは何ですか。(○は1つだけ)

- (上位3位) (1) 課題・問題を抱えた住民に対して、相談窓口の情報を提供する 40.2%
 (2) 課題・問題を抱えた住民の情報を市に提供する 21.5%
 (3) 課題・問題を抱えた住民の情報を収集する 16.0%

市川市地域福祉計画策定のためのアンケート調査から見てきたこと



第5期市川市地域福祉計画の「基本理念」及び「行動指針」(案)

基本理念(案)

個人の尊重や、多様性を認め合うことで、
だれもが住み慣れた地域で安心して、自分の
望む生活を送ることのできるまちを、共につくる

(第4期計画の基本理念)
だれもが住み慣れた地域で自立した生活を送るとともに、自らも参画し、安心して暮らすことのできるまちをつくる

行動指針(案)

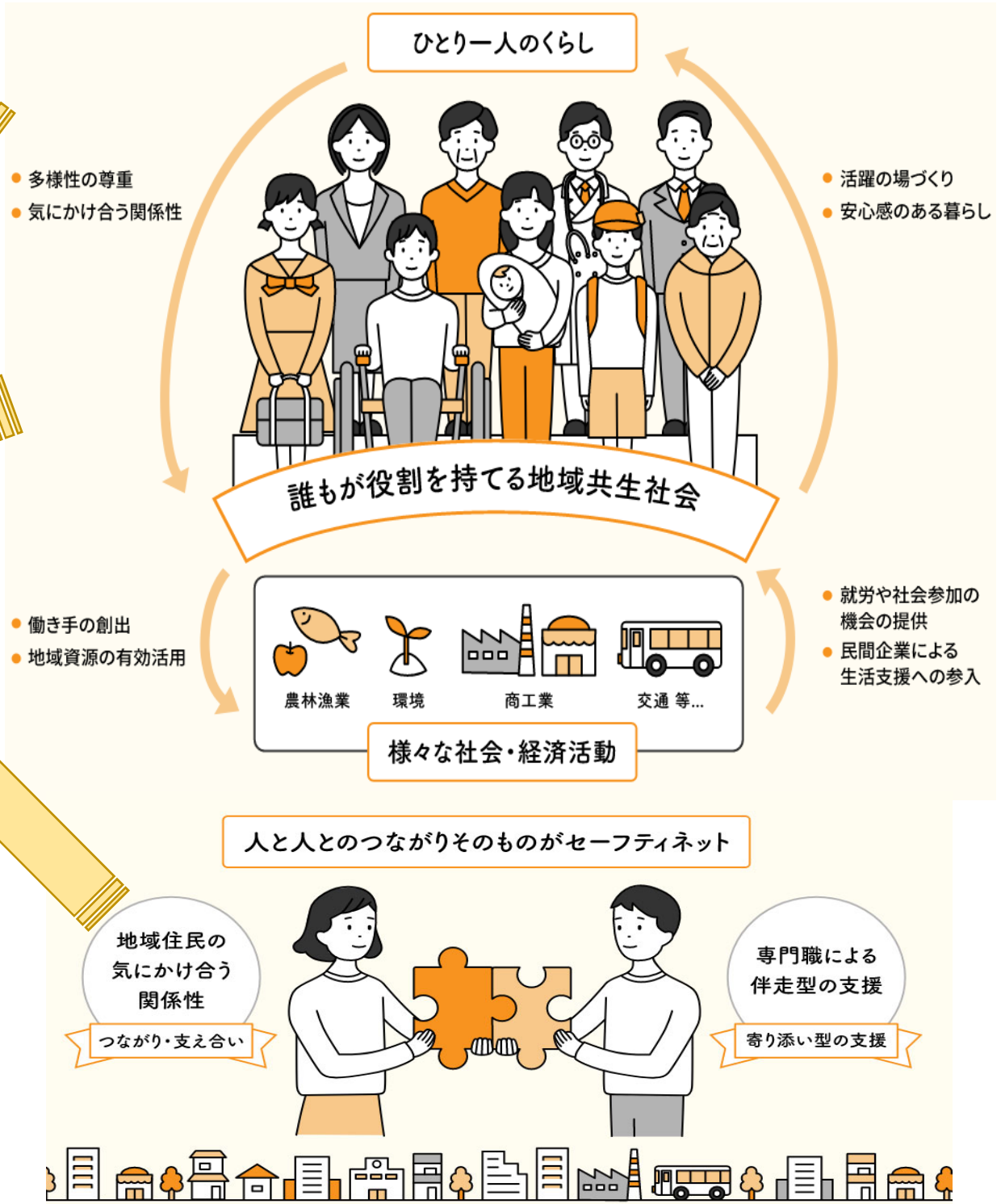
地域共生社会の実現に向けて、
市民は相互に気にかけて、助け合い、
専門機関や行政は市民に寄り添い、支え続ける

(第4期計画の行動指針)
住民がつくる身近な福祉コミュニティ

【参考1】市川市総合計画における「まちづくりの基本理念」

生涯を通して誰もが一人の人間として夢や生きがいを持って安心して生活できるよう、思いやりや慈しみの心のもとで、すべての人を認め合う「人間尊重」を基本とし、多様な自然や、そこに生息する生物などと相互に良好な関係を保ち、豊かな地域社会を目指す「自然との共生」、さまざまな価値観や立場を認め合い、ともに力を合わせて地域社会を築き上げていく「協働による創造」の3つを基本理念とします。

【参考2】厚生労働省「地域共生社会のポータルサイト」



基本理念(案)及び行動指針(案)は、現時点で計画策定事務局が仮に設定しているものです。
社会福祉審議会、地域福祉専門分科会、地区推進会議の委員の皆様からご意見をいただき、令和5年度に決定する予定です。

令和5年7月～実施予定 よりそい支援事業全体図(案)

令和5年3月16日
地区推進会議 資料3

